



看家広報

●人々の暮らしと人生を応援!

はなえみ

2025
3 隔月刊
月号
NO.161

公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会

◆ Special Interview

光には、人の心に癒しや元気を与える 素晴らしい力があります。

光があるから何があるかが解る。光は人の心身に大きな影響を与えている。

照明デザイナー 石井 幹子さん...1

●SPOT LIGHT 日本人の寿命と今後の対策は?...6
日本は100歳以上が10万人に迫る長寿国。
健康寿命を延ばす対策が必要!

●MOVEMENT①...7
平成6年度「家政士」検定試験では、63名が合格し、
全国の「家政士」は891名に。

●MOVEMENT②...8
家政士試験挑戦は、家政婦(夫)さんたちの
スキルアップを推進するチャンスです。

●INFORMATION...9
徴収した紹介手数料の実績を「人材サービス総合サイト」に
掲載することが必要となります。



花知識◆オーニソガラム・ダビウム

●オーニソガラム・ダビウムは球根植物で、
切り花として活用されることもあります
洋風・自然風の庭の園芸種に
向いている丈夫な花です。
水はけのよいやや乾燥した日当たりの良い場所を好み、
寒冷期の場合は室内で保護をします。
数種あり、種によってかなり姿が異なります。
六弁の鮮やかなオレンジ色の美しい花を咲かせる。
葉は平たく伸び生命力を感じさせる
花として愛されています。

- 花ことば:「純粹」「才能」「希望」
- 植物分類:科名:キジカクシ科 秋植え球根(春植え球根もあり)
- 原産地:南アフリカ



光には、人の心に癒しや元気を与える素晴らしい力があります。

光があるから何があるかが解る。光は人の心身に大きな影響を与えている。

照明デザイナー

石井幹子さん

日本の照明デザイナーの草分けであり、世界の第一線で活躍を続けてきた石井幹子さんは、働く日本女性の才能と挑戦の姿を世界に示してきた方でもある。照明デザイナーの活動について知られていなかった時代を切り開き、東京タワー、レインボーブリッジ、姫路城、そして皇居外苑に至るまでの日本の夜の魅力を引き出し、世界に日本の文化の魅力を伝えてきた。石井さんの仕事の世界を拡大してきた勇氣ある多彩な挑戦について、お話を伺った。

奨学金制度がなかった時代。働きながらフィンランドで照明デザインを学ぶ

——世界的な照明デザイナーとして活躍されている石井さんが、照明デザインという仕事を選ばれたきっかけや背景はどのようなところからだったのでしょうか？

私が自分の進路を選んだ頃は、プロダクトデザインという仕事の世界が注目をあつめていた時代でした。

興味を持った私はデザイナーをめざし芸大でプロダクトデザインの勉強をしました。

卒業して最初に入ったデザイン事務所で照明器具をデザインする仕事をしていた時、照明器具の試作品に光が灯った瞬間に、私は「光があってこそ周りの世界が見えるのだ!」ということに気づき、深い感動を覚えたのです。

その頃は北欧の家具や食器などのデザインに対する評価が世界的に高い時代で、私は、北欧のフィン



ランドに留学したいという気持ちが高まり、あちらの言葉を学んでいました。

でもその頃は今の様に奨学金の制度もなく、1ドルは360円で、海外に留学するため日本から持ち出せるお金は、わずか500ドル。2か月暮らせるかどうかの金額でした。そこでデザインは国際的な技術なので、働きながら学びたいと考え、尊敬するフィンランド女性の照明デザイナーであるリーサ・ヨハンソン・パッペさんに学びたいと、手紙を書き作品を送ったところアシスタントとして月に7万円で雇ってくださる

▶石井幹子(いしい・もとこ)プロフィール:

東京芸術大学美術学部卒業。フィンランド、ドイツの照明設計事務所勤務後、石井幹子デザイン事務所設立。都市照明から建築照明、ライトパフォーマンスまで幅広い光の領域を開拓する照明デザイナー。日本のみならず海外でも活躍。国内外での受賞多数。2000年 紫綬褒章を受章。2019年秋 文化功労者顕彰、2020年秋 東京都名誉都民顕彰。作品集「MOTOKO ∞ LIGHTOPIA 石井幹子 光の軌跡」、「光時空」、「光未来」他。著書「光が照らす未来—照明デザインの仕事」、「LOVE THE LIGHT, LOVE THE LIFE 時空を超える光を創る」、「新・陰翳礼讃」他。
(株)石井幹子デザイン事務所のホームページアドレス <http://www.motoko-ishii.co.jp>

という返事が来たのです。

日本では初任給が1万5000円くらいの頃です。フィンランド大使館で渡航許可証をもらって、ソ連の貨客船でシベリアに行き、シベリア鉄道経由でフィンランドに行きました。

フィンランドでは、パッペ先生のアシスタントとして働かせていただき、カタログに載せる図面を描いたりしていました。

——一人で初めて日本を離れ、はるばる遠い国に行って仕事をされたんですね。大変勇気のある挑戦だったと思います。その職場で、残業とかはなかったのですか？

残業もなく皆さんにとっても親切にいただきました。照明器具のデザインは、電球から出る光をどう照らすかを考えるもので、そんなに難しいものではなく、使用する材料も金属やガラス等が中心でした。

日本から単身スーツケース一つで行ったので、まずフィンランドの食器を買いましたが、ミュージアムに収蔵されるような素晴らしいモダンデザインでした。

日本の場合は雑多な会社が食器をつくっていましたが、陶磁器やガラスの会社は2社くらいしかなく、製品の多くはアメリカ東海岸などに輸出され、大学教授等のインテリ層の方々が愛用しておられました。当時は北欧の質の高いデザインの食器を使うことが、ひとつのステイタスようになっていましたね。

照明器具のデザインとはこういうものかということが解ってきた頃、北欧の照明見本市で、建築物と連携した照明器具の存在を見て関心を持ちました。興味を持って制作している会社に質問していると「ドイツに来て働きませんか」というお話をいただいたので、先生に相談したところ、了解をいただき、ドイツに行きましたら月給10万円に昇給して、働くことができました。



目的を持った建築物の中の照明というスケールの大きな仕事に挑戦

——さらに学びたいという気持ちが。相手に伝わり、次々と道を拓いていくことができたんですね。

ドイツでは教会の照明という大きなマーケットがあったんです。

この頃に、私がデザインしたジュルツブルクにあるシティホールのシャンデリアは、今も使われています。

ドイツでの仕事には興味がありましたが、当時日本は大阪万博の前の時代で、今までにない新しいものを創り出そうとする熱気がありました。そこで私は帰国し、大阪万博の仕事で、日本での仕事をスタートすることができました。

しかしその後は石油ショックで、「照明に使うエネルギーがもったいないから光を消せ」という時代になってしまい、75年の沖縄海洋博の仕事で、やっと息をつくことができました。

ドイツに戻ろうかと思うときもありましたが、そんな頃にニューヨークのワールドトレードセンターなどの仕事をしておられたミノル・ヤマサキ先生から電報が届きました。「10日以内にアメリカの事務所に来てくれ。大きなプロジェクトがあるから」と。私は大急ぎで自分の作品をそろえて10日以内にと飛行機を乗り継いで朝方につくと、スーツケースの一つが届かない。やっ



▲皇居外苑・桜田門

と到着してヤマザキ先生へ作品をお見せしたら、「サウジアラビアの迎賓館の仕事をしているからやってください」というお話をいただきました。メッカに行くVIPたちのための迎賓館の照明を担当することになりました。

そして会議に行ってみると、図面をいっぱい見せられ資料や模型を持って帰り、どんなデザインにするかなどを考えました。

その仕事は日本・アメリカ・ドイツが施工を担当していて、サウジアラビア・ドイツ・日本の設計で、テレックスを使って更新しながら仕事をしました。すると直接会うほうが話が早いから来週来いと言われるような状況で仕事をしていました。

——世界のいろんな国と連携し、情報交換しながら目の回るような忙しい仕事をされていたんですね。

世界照明学会がロンドンのテムズ川で開かれていた後、70年代後半に、京都で世界照明学会が開かれることになりました。

そこで私は京都の照明の状況を調べに行ったのですが、そのころ目立つ照明といえば、パチンコ店の照明ぐらいで、これでは日本としてあまりに恥ずかしい、何とかしなければと市役所に行って街の主要なところは照明をしなければと申し上げたのですが、「あなたはどんな資格でここに来ているのですか?」と取り合ってもらえない。

それなら実験してみせようと環境照明研究会という名称を考えて、研究のためにデータを取りたい。照らすのは写真の撮影と同じだからいいでしょう?と。

自分たちで機材を用意して照らしますからと、二条城と平安神宮の照明実験をさせていただきますと申し入れ、しぶしぶOKをいただきました。



▲皇居外苑・和田倉橋

写真提供: (株)石井幹子デザイン事務所

実験の当日は、ライトアップがあると聞きつけた人々やマスコミが集まる中で、見た人からアンケートを取りましたら、女性の100%、男性の80%がライトアップに賛成という結果を得ることができました。

日本の各地を手弁当でライトアップの実験を8年間続け、理解者を増やしていった

それからは1年に2か所くらいは手弁当で、札幌・仙台・広島・熊本・神戸などに行って、建造物などに照明をあて、写真を撮り続けました。

そうしているうちに、やっと8年目に依頼が来たのです。1986年にライトアップ横浜として、建物11か所のライトアップを行いました。街の照明で初めてお金をいただける仕事ことができました。

10日間で80万人もの方に集まっていただき、ライトアップマップを配ったら、たちまちなくなってしまい、それがきっかけとなり、横浜ベイブリッジを手掛け、東京駅の話も舞い込んだのです。

「明るい話題を創りましょう」と、当時運輸政務次官であった柿澤弘治さんがおっしゃり、人の気持ちが明るく優しくなるようにと、明るく綺麗に東京駅を照らしたら、建て替える予定だったのですが、「これは壊してはいけない。昔のように復元しましょう」ということになりました。

光のランドマークは、人の心を明るく照らす力を持っている

その後、現代美術の作品を集めておられる東京タワーの社長が来られ、作品を見て東京タワーの照明をお願いしたいというお話をいただきました。

昭和から平成に代わる頃で、光の色を昭和の光



▲隅田川橋梁群(築地大橋、勝鬨橋)



▲東京タワー インフィニティ・ダイヤモンドヴェール

の色から平成になってからの色に変えました。そうしたら点灯した東京タワーの光によって気持ちが明るくなり、新しい時代が来たと感じ、タワーへの来場者も増え経済活性にもつながると評判になりました。

東京タワーの見えるマンションの借り手が増え、レストランなどでは東京タワーの見える席がいいということになり、病院では東京タワーの見える病室に入りたいという闘病中の方々が出てきたのです。

光がランドマークになると、気持ちが落ち込んでいる人の心を光が明るくしてゆくのですね。気分が落ち込んでいる時にはライトで赤く照らされ踏ん張っているように見える東京タワーを足元から見上げると気持ちがしっかり落ち着くという方もおられます。

人間のための安らぎのある光を大切に
して不眠をなくしていきたい

——ライトアップは経済活性にもつながり、さらにいろいろな波及効果が生まれるんですね。

昨今、東京では不眠に悩む人が少なくありませんが、オフィスの明かりが朝から晩まで明るすぎて、人体の体内時計に合わせた照明をすることが必要になってきています。

午前中は700～800ルクス、午後は500ルクスあれば十分。そうすれば気持ちももっと安らぎ、目もそれに順応するのです。

オフィスは800～1000ルクスに。目にLEDのきつい光は望ましくありません。昼は600ルクス。夜は50～100ルクス。キラキラはいいのですがギラギラは目に

良くないのです。

よみうりランドなどでは直視しても目に痛くない低照度のLEDを開発して使っています。

このところビルの上に、ギラギラした光の飾りをつけることが増えてきて目に良くないですね。

日本では、住宅も病院も照明が良くありません。医師や介護の人が診察室や廊下なども24時間の光を考えて、深夜は光度を下げて優しい明かりにしていきたいですね。

将来、病院暮らしすることになったら照明器具も入院用品の中に入れようと思うくらいです。

柔らかい心の休まる光の中で過ごしていれば不眠



▼『フィンランド 白夜の国に光の夢』

¥1,760

著者：石井幹子

出版社：NHK出版



に悩むことがなくなると思っています。

金沢駅周辺も観光都市化しようとし

ているけれど夜が暗くないですね。夜の月や星を眺められる環境も必要です。

東京の夜の空は明るすぎる 夜を安らぎのある世界にする優しい照明が必要

——今、東京でお月見ができる最適の場所は、皇居前広場ですね。夜の警備もしっかりしていますから安心です。

高層ビルが増えてLEDの電気代が安いからと、マンションの非常階段などの明かりは明るすぎる傾向があります。また、デジタルサイネージ等の動画広告パネルは、夜の安らぎを守るように配慮すべきですね。東京の街は電気の無駄使いをなくし、星や月も眺められる静かな夜を楽しめる優しい光で街づくりをしていくことが必要だと思いますね。

——ご長女の石井リーサ明理さんもパリでご活躍の照明デザイナーです。仕事で忙しい時期の子育てはどういう方法で乗り切っておられたのでしょうか？

私が子供を育てた頃の託児所は、学校の先生や公務員の方などが優先され、フリーランスで仕事をしている場合は、なかなか入れてもらえない時代でした。そこで家政婦さんに住みこみで来ていただき、娘を育てました。家政婦さんを探すのも大変でした。

現在も港区のシルバー人材センターにお願いして来ていただいています。短時間で働いてもらえる方がいるのは、ありがたいですね。

——大学の研究者や大企業で営業職をしている



方など、子育て時期はサポートする方が必要ですね。

女性の社会進出が進んでいるヨーロッパでは、医療や育児、介護など社会のサポートシステムが整っています。

日本も働く女性が増えるとそうなると思っていたのですが、どうも日本の女性は、仕事を持って自立しようとする自覚が足りないように感じます。

フランスの女性などは生活観がしっかりしていて、資金計画を行ってアパルトマンを買うために、「今はいらない」と高額なバックを買ったりしないんです。

日本の場合は、複数の女性が高級レストランで食事をしていたり、奥様たちが高級なサロンでおしゃべりしたり、海外旅行をしたり。人手不足だと思えないですね。

成功している女性は、お母さんの考え方が影響していると思います。私は娘に「子供を持って、自分の仕事を大切にしていってほしい」と言ってきました。日本の女性はしっかりした人生設計をして、自分の才能や可能性を磨き頑張っていってほしいと思います。

——私どもの協会に加入している経営トップの多くが女性です。石井さんは、考えながらアイデアフルにご自分の仕事の世界を切り開いてこられたことが良く解りました。

経営者の一人として大きな刺激をいただきました。ありがとうございました。

(インタビュー／清水保人 写真／渡邊英昭)

日本は100歳以上が10万人に迫る長寿国。 健康寿命を延ばす対策が必要！

日本人の寿命はどんどん伸びて、100歳を超える人々が増え、いよいよ人生100年時代が現実となってきている。こうした中で、長命を生きがいのあるものにするため、心身の健康維持と管理が必要だ。新しい時代の健康対策について確認しておこう。

世界的長寿国になったのには、 さまざまな理由がある

2023年の日本人の平均寿命は、男性が81.09歳、女性は87.14歳で、100歳以上の人口は、2024年9月に発表された9万5000人余（女性が88%）にのぼり、まもなく10万人を超えるといわれています。

日本がこのような長寿国になったのは、80年間戦争の無い時代が続いたことと次の6つの理由があるといわれています。

- ①健康的な食習慣。栄養バランスが良い日本食
- ②医療技術の進展と医療制度・健康保険など社会保険の充実
- ③公衆衛生の向上・衛生環境の整備、肺炎・新型コロナなど感染症の克服、喫煙率の低下
- ④生活環境と社会制度・治安の良さと公共交通機関の整備による交通事情
- ⑤高い教育水準と健康意識・予防意識の浸透
- ⑥社会的繋がりとメンタルヘルスの支援

こうした長寿国になった理由を確認し、日常生活に活かしていくことが更なる長寿に繋がります。

しかし寿命の長さだけでなく、自立して人生を楽しむ健康寿命を延ばしていくことが必要です。

医療の進展・変化によって 健康対策の常識も変化しています

健康を維持するポイントも、時代の中で変化してきています。主な変化を確認しておきましょう。

●高齢者は自然治癒力を高めるためフレイルに要注意

メタボが問題にされ、健康診断で腹囲を測っていましたが、高齢者が急にダイエットをすると、栄養不足によるフレイル（虚弱）になりかねないため、痩身が健康とは限らないという時代になってきています。病気になる基礎体力を維持するため栄養の摂取が必要とされています。

●癌は恐れず早期発見で働きながら乗り越える病気に

かつては癌が死の病と恐れられている時代がありましたが、昨今は早期発見の推進や発症する部位により死亡リスクが低いケースもあり、治療の方法も研究され進化してきています。いくつもの癌を乗り越え仕事をしながら生きながらえる方も増えています。

●食べ物の西欧化を見直し日本食が見直される時代に

脂分がなくてもエネルギーが得られる米を主食とする日本食が見直され、魚や海藻を食べ減塩に配慮しつつ納豆などの発酵食品や豆腐が健康食品と世界的に認められる時代になっています。

高齢者も自立精神を持ち、周囲の協力体制 を活かし健康寿命の延伸を心がける時代へ

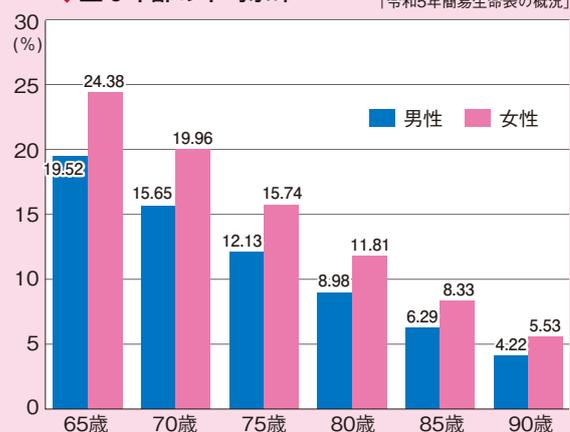
人生100年時代には伴侶や子供に先立たれるケースも多く、独り住まいの高齢者が増加中です。自分自身を丁寧にケアして食生活に留意し、自然治癒力を高めつつ日本の医療・介護・健康保険制度・人的ネットワークを活用して健康寿命を延ばしていきましょう。

◆平均寿命の推移



◆主な年齢の平均余命

出典：厚生労働省
「令和5年簡易生命表の概況」



平成6年度「家政士」検定試験では、63名が合格し、全国の「家政士」は891名に。

令和6年度の厚生労働大臣認定「家政士」検定試験が、2024(令和6)年11月16日(土)に全国の6会場(千葉、東京、横浜、福井、尼崎、宮崎)で実施されました。

各試験会場から回収された学科試験解答用紙と、実技試験の判定結果をもとに、合否判定委員会の厳正な合否判定が行われ、本年1月30日(木)に63名の合格者が発表されました。

合格率は最高水準の90%で

「家政士」資格取得者は着々と増加中!

今回の受験者は、70名で昨年の受験者数98名よりも少なかったものの合格率は素晴らしく、90%で今までの最高水準の結果でした。

受験者たちの真摯で意欲的な挑戦と、会員紹介所の熱のこもった応援・サポート体制がうかがえる結果でした。

10回家政士検定試験の記念事業は、

全国規模の拡大&浸透策の推進

令和7年度は、家政士検定試験開始10年に当たることから、家政士検定制度の周知拡大のために以下の記念事業を協会あげて展開します。

①これまで検定試験未実施の地域や長期に実施していない地域である大宮、名古屋及び四国において開催します。②家政士資格保有家政婦(夫)のスキルアップのための教材等の開発、提供に取り組みます。③受験手数料の特別割引を実施します。

④はなえみ、ほほえみの特集号を発行します。

まず受験者の拡大について

視野を拡大して考えていこう!

人生100年時代になり、年金だけに頼らず90歳くらいまでは健康維持のためにも現役で働こうと考える人たちが増えてきています。実際に90歳代で活躍する家政婦(夫)さんがおられるのがこの業界です。看護師さんなどの資格を持つ方も、重い責任を背負う看護師や介護士の仕事から、50歳を過ぎたらお年寄りの家庭生活に寄り添う家政婦(夫)の仕事に変わる方もおられます。

一人暮らしの高齢者が増えていく今後はさらに社会のニーズが高まってくると考えられます。



複数の資格を持つことで自分の年齢・心身の状態に合わせた働き方ができる

今回の試験に挑戦した方の中にも看護師や介護士の資格を持つ方が、周辺能力の拡大につながる家政士資格に挑戦しておられます。そうした方々が増えてきていることも合格率向上につながっています。日頃の生活技術を社会できちんと認められる資格を取得しておこうという方が増えてくると考え、家政士検定挑戦者を増やしていきましょう。

新「団体等検定制」の第1号に認定

家政士検定は、これまで国が定める社内検定制度の一つとして実施してきました。社内検定制度では、受験が検定を実施する企業や団体会員企業の労働者に限定されています。国はスキルアップ政策として、それ以外の労働者や求職者、学生、フリーランスの人も受験可能とする「団体等検定制」を昨年3月に創設しました。協会は家政士試験の受験者の拡大、認知度の向上の観点から団体等検定への移行を目指して団体等検定への変更を申請し、3月11日に第1号に認定されました。

協会としては、これを梃子により積極的に周知・広報活動を展開し、広範な分野の多くの人達に受験いただくよう取り組んでまいります。



今年の試験日程(予定)

学科試験

令和7年

11月22日(土)

実技試験

令和7年11月22日(土)～
28日(金)のいずれか1日

※検定試験の詳細は、令和7年8月初旬に公表します。

家政士試験挑戦は、家政婦(夫)さんたちの スキルアップを推進するチャンスです。

家政士資格を持つことは「プロの家政婦(夫)として当然のこと」とする風土づくりを推進。
サービス向上につながる能力向上の機会として活用しています。

●福井県(有)稲木ケア・サービス 越澤美穂子さん

■ 家政婦(夫)なら当然持つべき資格と ■ 全員が考え挑戦中!

私どもの会社では2年前に初めて家政士試験に挑戦しはじめたのですが、家政士試験に挑戦し、家政士資格を持つことは、家政婦(夫)として当然のことと考え、基本的に約30名の家政婦(夫)さん全員が試験に挑戦しています。現在までに22名が合格し資格を持っています。

試験に挑戦することで本人の自覚が高まり、資格を持つことで、自信を持って仕事ができるようになっていくのを感じます。

長くこの仕事をやってきたベテランの人も、客観的な評価が得られるからと、前向きに挑戦して資格をとってもらっています。

■ 4回の勉強会は、教科書を用意し、 ■ 時給を出して参加を推進

試験対策については、試験前講習会に加えて、勉強会を3週間に1回くらいのペースで4回行いました。勉強会の時給は当方で負担し、教科書については社内で購入してそれぞれの人に支給しています。また長く働き社に貢献してきた人の場合には、受験料も負担してあげています。

家政士資格を取ってもらうことは社にとってもお客さまのサービスの質向上につながる投資であると考えているからです。

■ 試験への挑戦は、仲間意識と ■ 共感を生み出し、楽しい体験となった

4回の勉強会で、みんなが励まし合いながら挑戦するので、コミュニケーションが活発になり仲間意識が生まれ、人間関係がよくなりました。

試験の当日は、お昼のお弁当も用意しました。試験に挑戦した人は、合格した人はもちろん不合格だった人達も「楽しかった」といって、再チャレンジ

する気持ちになってくれています。

ベテランの合格した人からこんなうれしい言葉を聞きました。「70歳をすぎてそんな資格を取得する機会を与えてもらい、しかも合格するとは、なんとという幸せものだ!」と、夫が喜んでくれたとのことでした。

今回受験した人の中には介護の仕事をしている人や看護師の仕事をしている人もいました。

これからの時代は、複数の資格を持ち家政婦(夫)の能力の幅を広げ、質の高い仕事をする方が増えていくと感じています。

■ 新しい時代の「家政士」という誇りの持てる ■ 職業イメージをみんなで共有していきたい

私は親から仕事を引き継いだ2代目ですが、ますます高齢者が増えニーズが高まる将来に向かって家政婦(夫)という仕事のスキルを高め、利用者のみならずみなさまから信頼されるプロの能力をしっかりと育てる会社になりたいと思っています。そのため私は、細かいアドバイスや口出しをする方だと思いますが、「家政士試験に挑戦するのは当たり前」というような風土になったのは経営する側の温かい心配りを理解し感謝してくれているからだと思います。



▲▶
令和6年度
「家政士検定試験」
福井会場

徴収した紹介手数料の平均手数料率を「人材サービス総合サイト」に掲載することが必要となります。

令和7年4月から職業安定法に基づく省令及び指針が改正され、職種別の常用就職1件当たりの平均手数料率を人材サービス総合サイトに掲載することが必要になりました。掲載対象となる職種は、令和6年度の常用就職（4カ月以上の有期又は期間の定めのないもの）の実績が多い上位5職種となります。ただし、常用就職の実績が10件以下の職種は、掲載は不要です。

平均手数料率の計算は、取扱職種ごとに、

$$\frac{\text{求人者から徴収した手数料の総額（常用就職全体分）}}{\text{求職者の賃金の総額（常用就職全体分）}}$$

で算出します。

4月30日が期限となっている職業紹介事業報告の提出後速やかに「人材サービス総合サイト」に掲載してください。

なお、当協会で、人材サービス総合サイトへの情報掲載の代行支援サービス（1回の掲載につき500円）を行っておりますので、ご利用される場合は、協会事務局（03-3353-4641 担当 花井）までご連絡ください。

【人材サービス総合サイトに掲載が必要な項目】

- ・紹介により就職した者の数（常用就職、無期雇用、臨時・日雇別）
- ・無期雇用就職者のうち、6か月以内に離職した者の数及び離職状況が不明な者の数
- ・手数料に関する事項
- ・返戻金制度に関する事項
- ・職種別の常用就職1件当たりの平均手数料率(追加)

税法上の優遇措置が適用される

当協会への寄附金をお願い申し上げます。

一人暮らしの高齢者や子を持つ共働きの家庭等が増加する中で、安全で良質な介護や子育て等の家事支援サービスへのニーズと期待が高まっています。

当協会は、設立以来看家紹介事業の発展及び看護師・家政婦（夫）の就労機会の拡大、福利厚生の上昇のために様々な事業を展開してまいりました。こうした事業には、主に会員の皆様の会費と事業収入を充ててきておりますが、厳しい財政事情の中にあり、活動内容の充実・強化を図るため、会員の皆様方に、ご寄附をお願い申し上げます。

◆当協会は税法上の「特定公益増進法人」と位置づけられていますので、当協会への寄附金には、税制上の優遇措置が適用され、所得税（個人）と法人税（法人）の控除を受けることができます。

●皆様からの寄附金は当協会の「寄附金取り扱い規定」に則り、有効に活用させていただきます。また当協会への寄附に対して、「感謝状」を贈らせていただきます。



お振込先 三井住友銀行 麹町支店 普通 136121 日本看護家政紹介事業協会

●寄附の詳細につきましては、協会ホームページ(<http://kanka.or.jp/kifu>)をご覧ください。



ちりも積もれば

私が紹介所を継ぎ41年以上になります。最近働く方々は、働かなくても一応生活ができるという方が多いのですが、40年位前は働かなければ生活ができない色々な事情を抱えている方が多くいました。私も若かったこともあり、弱い女性を金蔓のようにする憎らしい男なんか許せず、手伝ってくれる人もいて戦ったり、裏をかいたりしてきました。紹介所のことは何も分からないまま、母の逝去に伴い数ヶ月で社長になり、「つぶれるまで」の軽い気持ちで続けることにしました。

しかし「この仕事をする以上、少しは世の中のお役にたつ事をする」それには「何をしたら良いのか」母から「お金や幸せは水の波紋と同じで、掴もうとすると逃げ、押すと自然に戻ってくる」とよく聞かされてたので、新聞社の厚生文化事業に毎月寄付をし、家政婦(夫)さんの上に幸せが来ることを願い、始めました。

会社はすぐつぶれるつもりで寄付を始めましたが、新聞に他の寄付者に混じって会社の名前が41年以上も毎月載り、今までの合計が850万円以上となり、ほんの少しでしたが「ちりも積もれば…」で、続けてこられたことを自己満足ではありませんが嬉しく思っています。

これからも私に出来る限り続けてまいりたいと思います。

(投稿 匿名の方より)

★皆様からの投稿をお待ちしています。

お便りと今号のご感想・要望など看家協会事務局(E-mail: post@kanka.or.jp)まで、メールでお寄せください。また郵送の場合は協会(下記)までお送りください。

〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2

公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会 はなえみ投稿係

編纂委員会 (50音順、◎印委員長)

板井仁志、古賀道、渋谷洋子、◎清水保人、高橋和子、宮本和明、茂木芳枝、渡邊嘉子(編集顧問)

編集後記

山林火災や大雪での被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

弥生、いよいよ草木が茂る季節がきます。今回のインタビューは照明デザイナーの石井幹子さん、とても温和な雰囲気を持つ方ですが事業への熱量は計り知れず、世界を相手にしているデザイナーの凄みを感じます。記事には家庭での照明の明るさについてのレクチャー、後半は女性への熱きエールが掲載されています。

2025年は800万人の団塊の世代が後期高齢者となり、その人数は国民の4人に1人という人口構成となる年、まだまだ紹介所の出番は続きます。その事業においては日々の地道な積み重ねが、より良い未来に繋がります。さあ、気持ちも新たに「いよいよ」の思いを胸に一緒に前進してまいりましょう。(編纂委員・清水保人)

身の回りも頭の中も

宝探しだと思って整理整頓しよう!

- このところ人の名前が思いだせなくなったりするので心配になってきたわ。
- 脳科学者が言ってたけどいろんなことを覚えるようになると、頭の中をシンプルに片づける必要があるそうだよ。
- そういえば机の上が散らかっていると探し物が、見つからなかったり。
- 人間って寝ている間に頭の中で整理するっていうから良く眠ることも大切。
- 確かに睡眠不足の時って記憶力が悪くなって。
- 人間って興味のあることは、忘れにくいね。でもほかの何かに集中しているとつい大切なことも忘れてたりするね。
- 集中し過ぎなのかも。
- 大事なことはメモしたり、スマホの予定表や手帳に書いておくといいね。
- やっぱり頭の中も身の回りも整理整頓が必要ね。片付けると落としたり思っていた指輪や100円玉が出てきたり。
- 宝探しのつもりで片付けをしよう!



看家広報 **はなえみ161号** Hanaemi Bimonthly 161
2025年3月25日発行

発行 公益社団法人 日本看護家政紹介事業協会
〒162-0064 東京都新宿区市谷仲之町3-2

TEL 03-3353-4641

FAX 03-3353-4326

URL <https://kanka.or.jp/>

E-mail post@kanka.or.jp

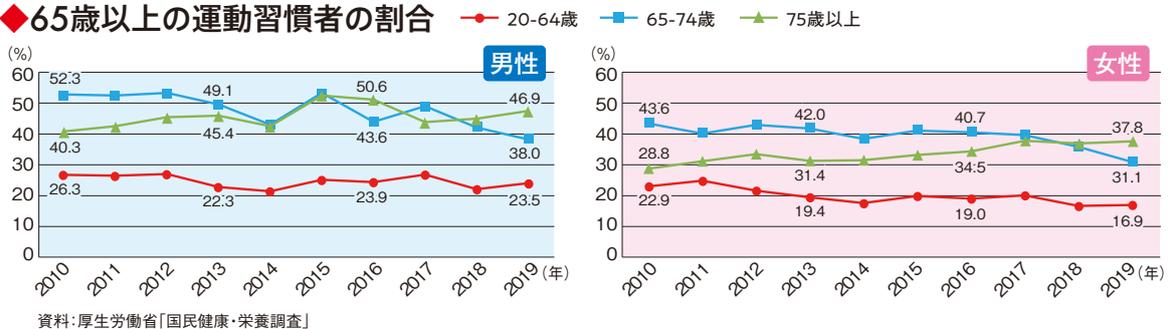


制作会社: 株式会社ヒューマン・コミュニケーション研究所
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-14ライオンズ原宿402
研究室: 〒104-0045 東京都中央区築地2-15-10-1602
TEL: 03-3545-8038
E-mail: yoshiko.w@human-c-labo.net

運動習慣と無病率向上で、幸福な長寿時代へ

◆65歳以上を対象とする新体力テストの結果では、男性はおおむね横ばいだが、女性は16年以降向上してきている。女性は長命であるため、健康寿命の延伸が望まれている。このことを意識し、体力向上に努める人が増えてきていると考えられる。◆75歳以上の運動習慣のある人の割合は、男性46.9%、女性37.8%で男性の割合が高い。◆2019年の認知症高齢者数は、4432万人(有病率12.3%)、MCI(軽度認知障害)の高齢者数は5585万人(有病率15.5%)で、年齢階級別の認知症およびMCIの有病率が令和7年以降も一定(有病率15.6%)と仮定すると、2040年には認知症5842万人(有病率14.9%)、MCIが6128万人になると推計されており、今後に向かっての対策が必要になっていく。

◆65歳以上の運動習慣者の割合



◆認知症及びMCI※の高齢者数と有病率の将来推計

※MCI(軽度認知障害):正常な状態と認知症の間であり、記憶力や注意力などの認知機能に低下がみられるものの、日常生活に支障をきたすほどではない状態を指します。

